

河川塾初等科

募集期限
4/27
(水)
まで

第12期生 参加者募集!!

公益財団法人 河川財団では、河川技術者の河川に対する基礎的知見を養い、河道特性を読み取る能力向上を目的として、河川総合研究所長 山本晃一による「河川塾初等科」を開講してきました。

「河川塾初等科」は、多くの河川技術者の技術力研鑽に資するため、第12期生の参加者を公募いたします。山本晃一による著書「沖積河川」をテキストとして、解説と討議を交えながら、本物の河川技術を学びませんか。



略歴

1968年 東京工業大学理工学部土木工学科卒
1970年 東京工業大学大学院修士課程修了
同年 建設省に入省し、土木研究所河川研究室研究員
1981年 建設省土木研究所総合治水研究室長
1988年 建設省土木研究所河川研究室長、河川管理総括研究官
河川部長、研究所次長および筑波大学教授
構造工学系（1992～1999年 併任）
現在 公益財団法人河川財団 河川総合研究所 所長
科学技術庁長官賞科学技術功労者（1999）

開催内容（予定）

講義 毎週月曜日 17時～19時（2時間程度）
※月曜日が祝日の場合は、翌日火曜日に開催いたします。

現地見学 現地調査2回（日帰り・宿泊）
水理実験施設見学1回

場所 公益財団法人 河川財団 会議室

期間 5月上旬～11月下旬までの7ヶ月間

修了証 出席回数を付した修了証を授与

募集要件 河川・土木に携わる技術者又は大学院生

定員 25名（定員になり次第、締め切ります）

参加費 15万円（大学院生3万円）
※テキスト代・現地見学会等の旅費は含みません
※再履修生（第11期）は、3万円で受講できます

申込方法 下記に必要事項をご記入の上
FAXまたはE-mailでお申込みください。



河川塾初等科は、**土木学会 CPD プログラム**として認定されています。

申込先 FAX : 03-5847-8309 E-mail : honbu@kasen.or.jp

河川塾初等科 事務局 担当者：山本（嘉）、軍司 TEL : 03-5847-8304

ふりがな 申込者氏名		連絡先	電話	
			E-mail	
会社名 又は 大学院名		所属部署 又は 専攻・担当教官名		



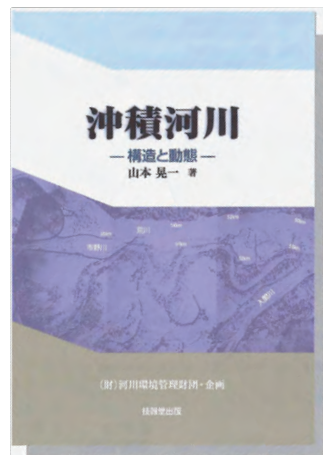
公益財団法人 河川財団

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 11-9
住友生命日本橋小伝馬町ビル 2 階
TEL: 03-5847-8302 FAX: 03-5847-8308

平成 28 年度 河川財団研究発表会

6 月 29 日（水）に一橋大学一橋講堂にて開催します。
詳細は、後日河川財団HPに掲載いたします。

<http://www.kasen.or.jp/>



第Ⅰ部 移動床の水理	第Ⅲ部 沖積地地形の発達とセグメント形成
1章 一様砂からなる開水路移動床の水理	14章 沖積地の発達形成を規定する要因とその特性
2章 混合砂礫からなる移動床の水理	15章 沖積河川への供給土砂量とセグメントの流送土砂量
3章 砂州の特性	16章 セグメント形成とその形成史
第Ⅱ部 中規模河川地形スケールの河道特性とその内的構造	第Ⅳ部 個別河川の河道特性の調査法と調査事例
4章 河道特性把握の単位スケールとその規定因子	17章 河道特性調査の目的と内容
5章 河道特性を規定する主要因子	18章 小貝川の河道特性－鬼怒川の支配された河川－
6章 河床に働く洪水時の掃流力と河道の平均スケール	19章 鬼怒川の河道特性－沖積層の底が見える河川－
7章 洪水時の小規模河床波と粗度	20章 鈴鹿川の河道特性－その特異性－
8章 土砂の分級減少とセグメント	
9章 河道の平面形状と変動形態	
10章 河岸沿いの深掘れ要因と深掘れ深	
11章 位況と水位偏差	
12章 人為的インパクトおよび大洪水による河道の応答	
13章 河道特性としての生物相	

沖積河川
—構造と動態—
発行所：技報堂出版株式会社
定価：¥6,400（税抜）

年間活動計画（予定）

年間活動計画（予定）の章番号は、テキスト**沖積河川**の該当章を示します。

月	5				6				7				8				9				10					11																																																																																												
日	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	19	25	1	8	15	22	29	5	12	20	26	3	11	17	24	31	7	14	21																																																																																									
開催回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回																																																																																										
年間活動計画（予定）	入塾式（塾長によるガイダンス）・序論				セグメント・河道特性規定因子（第4・5章）				均一砂の移動床の水理（第1章）				河道のスケールをなにが決めるか（河口を除く）（第6章）				小規模河床波と粗度（第7章）				現地調査（関東一級河川）※日帰り					混合砂の移動床の水理（第2章）				土砂の分級（第8章 8.1から8.3）				土砂の分級（第8章 8.4から8.6）				砂州（第3章）				水理実験施設見学あるいは特別講義				平面形状（第9章）				深掘れ（第10章）				位況と水位偏差（第11章）				夏休み				人為インパクト（第12章）				生態系（改定版使用）（第13章）				沖積地発達と流送土砂量（第14・15章）				セグメント形成（第16章）				河道特性調査の目的（第17章）				小貝川（第18章）				鬼怒川（第19章）				鈴鹿川（第20章）				現地調査（国内一級河川）※1泊2日					長江				波と海岸地形				汽水域の地形（河川汽水域第4章）				総合土砂管理				修了式（修了証の授与）			

過去の現地見学

- 第1期（2005）赤川（山形県）

第2期（2006）豊川（愛知県）

第3期（2007）九頭竜川（福井県）

第4期（2008）雄物川（秋田県）

第5期（2009）庄川・小矢部川（富山県）

第6期（2010）大井川・安倍川・菊川（静岡県）
- 第7期（2011）黒部川・常願寺川（富山県）

第8期（2012）狩野川・富士川（静岡県）

第9期（2013）多摩川（東京都）・鬼怒川（栃木県）

第10期（2014）多摩川（東京都）・阿賀野川・阿賀川（新潟県）

第11期（2015）多摩川（東京都）・常願寺川・神通川（富山県）

